大和証券グループ

2026年11月6日

各　位

会　社　名　　株式会社大和証券グループ本社
代表者名　　代表執行役社長　荻野　明彦

株式会社日本政策投資銀行　トランジションボンド発行のお知らせ

このたび、株式会社大和証券グループ本社傘下の大和証券株式会社は、株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」）が発行する株式会社日本政策投資銀行第223回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（トランジションボンド※1）（以下「本社債」）の引き受けにおける事務主幹事およびStructuring Agent※2を務めましたので、その概要についてお知らせいたします。

本社債を発行するDBJは、投融資先であるお客様起点に立ち、お客様の脱炭素に向けた取り組みをサポートし、経営課題を解決することを通じて、2050年までの投融資ポートフォリオのGHG排出量ネットゼロの実現を目指しています。その実現と、トランジションの対応との両立のため、お客様の脱炭素への移行の後押しやエンゲージメント強化の観点でも重要な方針となる「トランジション方針」と「2030年中間削減目標」を策定しています。

これらの方針のもと、DBJは、他者の脱炭素に向けたトランジションを可能にするための投融資を含む活動の原資を調達する主体（以下「Enabler」）として、トランジションボンド・フレームワーク（以下「本フレームワーク」）を策定しました。金融機関Enablerとしてのトランジションボンド・フレームワークの策定は国内初の取り組みであり、本社債は昨年度に続く3回目の発行となります。

本フレームワークに基づき発行される本社債の資金使途は、トランジション・ファイナンスとしての適格性について第三者評価を取得したトランジションローン及び/又はトランジション・リンク・ローンであり、調達した資金はこれらを通じて脱炭素に向けた社会のトランジションに寄与します。DBJはトランジションボンド発行により、投資家からの支援のもと、お客様とのエンゲージメントを推進しつつ、社会全体の脱炭素化の促進に繋げ、日本の競争力を維持・強化し、お客様の成長に貢献します。

本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）の定める「クライメート・トランジション・ボンド・ガイドライン2025」等との適合性に関し、株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）より評価を取得しています。

（詳細は以下のホームページをご覧下さい）
https://www.jcr.co.jp/download/8e9999c9ae6988a008b8038e69a88a638b638ecc6d89309668/26d0812.pdf

■本社債の概要

社債の名称	株式会社日本政策投資銀行第 223 回無担保社債 （社債間限定同順位特約付）（トランジションボンド）
社債総額	100 億円
発行価格	各社債の金額 100 円につき金 100 円
発行年限	2 年
発行額	100 億円
利率	年 1.859%
払込期日	2026 年 11 月 20 日
償還期限	2028 年 11 月 20 日
取得格付	AA+(R&I)/AAA(JCR)/A1(MDY)/A(S&P)
資金使途	トランジション・ファイナンスとしての適格性について第三者評価を取得したトランジションローン及び/又はトランジション・リンク・ローンへの投融資、又は当該投融資に係るリファイナンスに充当
主幹事証券会社	大和証券株式会社（事務） 野村證券株式会社
Structuring Agent	大和証券株式会社
財務代理人	株式会社みずほ銀行

（※1）トランジションボンド

気候変動リスクへの対策を検討している企業が、脱炭素社会の実現に向けて、パリ協定に整合的な目標設定を行い、長期的な戦略に則った温室効果ガス削減の取組みを行っている場合に、その戦略や実践に対する信頼性等を根拠に SDGs 債として発行する債券

（※2）Structuring Agent

フレームワークの策定およびセカンドパーティ・オピニオン等外部の第三者評価の取得に関する助言等を通じて、トランジションボンドの発行支援を行う者

大和証券グループは、経営ビジョン「2030Vision」のもと、引き続きステークホルダーの皆様と共に、金融・資本市場を通じた豊かな未来の創造および企業価値の向上に努めてまいります。

以　上

（ご参考）大和証券グループのサステナビリティに関する取り組み：
https://www.daiwa-grp.jp/sustainability/?cid=ad_eir_sdgspress